



いつもその時代に 必要とされる人間でいたい。

三遊亭円楽（さんゆうてい・えんらく）1950年、東京都墨田区生まれ。落語家。本名：會 泰通（あいやすみち）。青山学院大学法学部卒業。在学中に五代目三遊亭圓楽の抱持ちのアルバイトをしたことで見初められ、卒業後に弟子入り。六代目三遊亭圓生から楽太郎と名付けられた。76年、二ツ目に昇進。翌年8月に「笑点」のレギュラーに。以降、現在まで39年にわたり同番組の出演が続いている。81年、真打に昇進。2007年からは、東西の落語家を集めて公演を行う「博多・天神落語まつり」のプロデュースを手がけるようになった。博多で同イベントは秋の風物詩として定着し、今年11月3日～6日の開催で第10回目。開催の2か月前にはチケットが完売するほどの盛況ぶりを見せている。2010年に師匠である五代目三遊亭圓楽から襲名を受ける。

「面倒くせえから、弟子になっちゃえよ」

放送作家に憧れた大学時代、

5代目三遊亭圓楽師匠の言葉が、人生を変えた。

師匠を喜ばせたい。

修行中は、そのことだけを考えていた。

師匠から異例の生前襲名を受け、今や長寿番組「笑点」の古参に。

白のトップスに、黒いショートパンツという洒落た出で立ちで颯爽と現れると、

こう笑った。「だんだん、服装に遊び心が出てきたんですよ」

一人前になった今だからこそ、できる服装なのだ。

木村政雄編集長スペシャルインタビュー

三遊亭円楽

落語家

木村 いやーっ、お若いですね。とても似合
っていらっしやいます。

円楽 いやいや、もう中は少しポロポロにな
ってきましたよ（笑）昔、うちの師匠にね、
売れるまではきちんとしてなさい、でないと
お供をしていて、どこかで「お弟子さんも」
と誘われた時に連れていけない。売れていれ
ばそれもファッションになるからって言われ
たことあるんです。今、斬家を見ていると東
京の斬家は、何の職業かわからない服装をし
ていますよ。若い子は学生なんだか、勤め人
だか。で、ふっとある時にね、おしゃれを始
めたんですよ。10年くらい前かな。いろいろ
凝ったりしているうちに、だんだん遊び心が
出てきて、店のスタッフも、シャレで「シヨ
ートパンツにしましょう」とか遊んでくれる
から面白がってやるようになったんですよ。

木村 そうですか。私なども家でショートパ
ンツをはいたりしますが、なかなか外へ出か
ける勇氣はないですね。

円楽 仲間のおばさん連中は、やめなさい、
って言ってるんです。恥ずかしいって。（一同、
笑）でも、ジャケットにショートパンツ、ス
トロihatがぶつてね。面白いですよ。み
んな見るしね。ふふふ。

木村 どうしても60歳を超えるとみんなその
年代なりの服装になっちゃってしまいがちですね。

円楽 確かに近所を歩いている時はタンクト
ップでもいいんですけど、やっぱり人前とい
うか、街中を歩いている時は、自分だとわか
っちゃったときに「あつ素敵！」と思われる
もんでないとおかしいかな、と、そんな哲学
を持ち始めるようになりましたね。

木村 すべて御自分で考えられるんですか？





円楽 そうですね。ワンピースに決めていきます。ここ何年かは銀座のアルマーニが主流で、店の人も色々相談に乗ってくれるし、馴れてくると、やたら「こういうもの入ります」「秋冬コレクションです」って連絡が来て、勧められたりするんですよ。

木村 やっぱり、ご出身がオシャレなイメージのある青山学院ですよね。

円楽 いや青山学院って、実は地方の少ししい家ぐらいの人間が多いんですけど、世間が勝手にシテイボーイが多いというイメージを持っているだけなんです。それで、自分が嘶家になって二ツ目になるときに、なんかア

ピールするものがないかなって嘶家仲間を見てみたら、ほとんどシテイボーイなんていなかったんですね。よし、これは使えるなと思っただけです。それで着る服のブランドがVANになって、ブルックスプラザーズになって、一時、JUNになっていったというわけなんです。

木村 だけど、高校の時は就職コースで、公務員試験まで受けて、合格されていたんですよ。それが何で急に青山学院へ行くことと思われたんですか。

円楽 その頃はそんな言葉がなかったけど、記念受験ってやつです。一つくらいは受け

報が全部入ってくる。だから前に座って、そこで情報を得て、復習は興味を持ったところだけしたんですよ。少しひっかかることがあると、図書館へ行くんですよ。司書さんに「こういうことを調べたいんですけど」と言うとかちゃんと助けてくれますから、それを手書きで写したり、イラストを描いたりしながら、自分でまとめたノートを作っていました。それは大学入っても同じで、僕のノートは本当によく皆の間を回っていました。授業に出てない人間のところに僕のノートが回ってるんですよ。そのうちタダで貸すのもどうかと思っ

て、コピー代をとって回すようにしていました

たね。まあ効率よく勉強していたということなんでしょかね。

木村 勉強の仕方を含めて、生き方そのものも要領がいいってことなんですかね。

円楽 師匠にも「おまえは要領がいい」って言われましたね。悪い意味じゃなくて。「打てば響くし、すぐにわかるし」って。下町の貧乏人のせがれってそうなんです。しかも次男坊ですよ。毎日が生き残りゲームなんです。悪く言えば、人の顔色を見る。よく言えば要領がいい。それは言われましたね。僕は団塊世代の最後だから「どうやって生き残ろうか」という世代でしょ、先輩たちを見

てみようかなと思ったんです。あの頃は何しろアルバイトばかりやっていたから。確か7000円くらい手元に残っていたんですよ。それで、受験料を調べると、だいたい5000円ということがわかって、5000円ならある、じゃあ今から願書が間に合うとこって、友達に大学要覧を借りて調べたら、1ページ目が青山学院だったんですよ。で、受験したら、受かってしまいました。未だに近所の同級生と酒を飲むと、「一緒に受けた人間はみんな落ちたのに、お前、よく受かったな」と言われますよ。受験勉強をしてない自分が入っちゃったんです。

木村 公務員試験に備えて勉強されていたのが効いたんですかね。

円楽 いや、勉強の仕方なんですよ。僕は昔から予習・復習ってしない人間なんです。小さい頃、母親に言われたんです。「なんだ、その予習っていうのは」「なんでお前習ってもないところをやるんだ」って。「間違えて覚えたらどうするんだよ。まっさらで学校にいけ。目は二つある、耳も二つある、口は一つなんだ、なんで二つあるのかを考えてみる。人の倍見て、倍聞いて、一つの頭に集約しろ、それを一つの口でしゃべるんだ」そう小学校の時に教わったんですよ。僕は「そうか！」と思って、中学のときから先生にお願いして、席替えの時も前にしてくれと頼んだんです。一番前に行くと、情報がそこしかないんですよ。先生と黒板だけ。後ろに座ると、こいつ寝てる、こいつ遊んでる、と余分な情

ながら賢くなっていきますよ。話も合いますしね。

「面倒くせえから、弟子になっちゃえよ」
人生を変えた師匠の一言

木村 ご両親には断らないで大学を受けられたんですよ。

円楽 受かってから話をしたら、「うちなんかどうやっても大学なんて経済的に行けるわけないだろ」と言われましたね。「自分で働いて行くから」と言う、「その代わり何にも出さないよ」って。そうしたら、本当に出さない親だったんですよ。見事なまでに。だから、大学へ行くのにも高校の学生服を来て行ってきましたよ。ボタンだけ変えてね。とにかく電車賃がないと。他にも、本代、授業料もね。入学金だけお袋に借りて、それつきり出してくれないんですよ。だからなんでもいいからアルバイト、アルバイトの連続で。一生懸命働くでしょ、そうすると、アルバイト先でも重宝がられて、君もだいたい仕事を覚えたから君がチーフでやってくれ、となるんですよ。そうすると、僕が給料をもらって皆に渡すんですよ。ずいぶん中間マージンが入るんですよ。そんなことでもって稼ぎましたね。

木村 授業はちゃんと受けられたんですね。

円楽 一年は皆出席ですよ。58単位全部とって、教師をやるうと思っていましたから、教職課程も少しとったんです。で、2年の時の途中に師匠と知り合って、お供を始めるよう



になったら放送作家の先生を紹介していただいて、その方が「水曜イレブン」や文化放送の番組をされていたので、お手伝いするうちに「これは面白いぞ」と思うようになっていきました。そんなある日、師匠から「卒業したらどうする？」と聞かれたので、「放送作家になりたいんですけど」と答えると、「どうだ、落語やってみないか」と。「面倒クセエからいつそ弟子になっちゃえよ」って言われたんです。その頃、師匠は「星の王子様」と呼ばれていたんです。で、つい「お願いします」と言っちゃったんです。だってあの、オーラで「弟子にならねえか」って言われたら「嫌です」とは言えないですよ。

木村 それでお父さんと一緒に師匠の所を訪ねられたんですよね？

円楽 そうしたら師匠が、「一年くらいあたしについて見てますけど、この子ならなんとかなりますよ」と言ったんです。僕それを聞いてちゃったんですよ。「おお、やったあ」と思っていたら、親父が帰った途端、今まで、「君」だったのが、ばか、へちま、たこですよ。そーか、そっちがそんなに変わるんなら僕も変わってやろうと思っただんです。師匠からは「俺を喜ばせろ」と言われました。「俺一人を喜ばせればいい。お前の上司は俺だけだ。俺一人喜ばせられなければ、お客さんを喜ばせられない」と言われたんです。それから真剣にどうすれば師匠が喜んでくれるかなあと考えましたね。

木村 例えばどんなことをされたんですか。

円楽 博多で落語会をサポートしてる仲間がいます。一緒に飲んでる時に「独演会とか二人会じゃなくていっぺんにばーってやれませんか」と言うから、こちらも酔った勢いで「できるよ」「じゃあやりましょうか」となったんです。「ついちゃあね、やるけどその代わり赤字が出たら二人で背負おう」と私が言ってしまったんです。そうしたら二人とも必死でやりますよね。最初は二日間16公演くらいやったんですよ。やっていくうちにもっとできるねえ、ってなって、十年目の今年、東西から65人。落語会に関わっているイベント屋さんからこの時期は落語家がいなくていわれるほどに育ちました。どうして博多なのかというと、たとえば上方でやっている人の会に我々が行くとゲスト、逆に東京でやると、上方の人がゲストになっちゃうわけです。どちらもホーム・ビジターにならないニュートラルな所となると、札幌か博多しかないということなんです。博多をみんなが好きなのは。酒も魚もうまいからですね。

木村 ところで関西の芸能界にいた私にとってはよくわからないですけど、東京では落語協会と落語芸術協会、円楽一門会、落語立川流に分かれているじゃないですか。これって、四つに分かれる必要があるんですか？

円楽 「もう一回全部一緒になっちゃえばいいですよ。上方落語協会があって、東京落語協会があって、その上に日本落語協会があればいいんです。ぜひ俺たちの目の黒いうち

円楽 チェーンスマーカーの師匠を面白がらせようと思っただけで、台所にある徳用マッチをカバンに入れて、師匠がタバコに口をつける

と、さつと徳用マッチを擦って火をつけるんです。周りの人が驚くんです。そうすると師匠が、「いやああたしね、タバコ吸いすぎて、小ちええマッチじゃ間に合わねえんでね」。

「私が持たせてんですよ。なあ、それが二箱はいるよなあ」とおっしゃるんです。それで帰りのタクシーの中で、「お前、あれどうしたんだい」と聞かれて、私が「いやあ買ってきました」と言うと、3000円とか5000円をくれるんですよ。師匠というのはみんなの前で財布を出すの嫌でしょう。「おい、楽太郎、勘定」と言われて、「もう済んでます」と答えると「ちよっとお前、帰り、うちまで乗ってきな」「お前が払ったのか？」「たて替えときました」「生意気だねえ、おまえは。だけど、よく金があったね」「ええ、いろんなところでもって一生懸命貯めといたんです」と言うと、「無理しなかつた方がいいから、足りなかつたらマネージャーに言ってもらってけ」と。それって。そういうことは褒めてくれました。褒められなかつたのは芸のことだけでしたな。

木村 それはご謙遜だと思いますけど、時にはゲンコツが飛んできたりすることもあったんですか？

円楽 手は出さないと、でも一つ気に入らないと、すぐにキレるんですよ。すぐに「なんだてめえは」となるんです。けど、まあ、

病気になるってからはだんだんだんだん弱気になりましたね。

異例の生前襲名へ

「誤魔化しちゃうと思っただ」

木村 こうしてお話を伺っていると、ずいぶんと順調に歩まれたように思えますが、挫折とかはなかつたんですか。

円楽 すべてがなりゆきで、そのまま流されてうまくしちゃったんですね。師匠がこの世界へ誘ってくれて、嘶家になって、二ツ目になって、わずか一年で師匠が笑点を譲ってくれて、ちよっと厳しい時期もあったけれど、師匠が卒業して歌丸師匠に代わって、何年か経って、段取りをつけて、襲名の半年前に向こうに行っちゃったわけですよ。師匠が私の人生を全部段取りしちゃうたようなものです。本当は二人並んでみんなに祝ってもらって五代目、六代目が揃って口上をするはずだったんです。博多の会も、うちの師匠が命をもって宣伝してくれたおかげで東京・大阪の売れっ子たちが全部出てくれているんですよ。

木村 師匠がお亡くなりになった時は、ちょうど博多天神落語祭りの直前だったと聞きますが、いつからプロデュースをされているんですか。

円楽 今年で十年目になりますかね。

木村 どうして博多でやろうと思われたんですか。

にやりましょ、といつてあちこち火をつけて歩いてます。僕なんか所属は一門なんだけども、業界は一つだっという頭がある。過去の経緯はともかく、お客さんを増やすのが業界全体の発展に繋がるんだらうと思うんです。だったら、それこそ、東西一緒に日本全国、5人くらいのチームを5パターンくらい組んで、本州も北と南、四国、北海道、九州って組み替える。そんなことやったらさつと楽しいと思うんですよ。

木村 もつと言えは関西は真打も二つ目もないじゃないですか。要は実力次第。そうなた方が僕は落語界にとつてもいいと思いますけどね。

円楽 ただ、今までやってきた人もいますから、真打というところをスタートにしてあげれば、それを目標として皆が頑張るから今のシステムは残してもいいと僕は思います。でも、そこから売れるか売れないか、うまいか下手かはお客さんが決めますから。みんな客商売だつてことを忘れてるんですよ。

木村 私などは「真打披露」と聞くとたびに、真打になったからといって、それまでより倍面白くなったんですかねって思ってしまうんですが……。

円楽 上方の人にすれば簡単、「面白い面白くないか」。僕に言わせれば、「面白い面白いか」。うまい人は認めますよ。うまぶる





やつがいけないんです。僕なんかは認めちゃうもん。自分なんか数えると、自分の上に36人もうまいのがありますけどね。アハハ……。

木村 またまた！ それはしないでしょうけど……。師匠から名前を継いでくれ、と言われてから、還暦の60歳で6代目ということになられたんですけど、生前襲名っていうのはあまり例のないことなんですよ。

円楽 ないですね。うちの師匠が体力的にも弱ってたし、笑点もやめて、前からお前を圓楽にするとは言われていたんですよ。私はいっそ、楽太郎のまま行っちゃおうかと思っただんですけど、つい誤魔化しきれなくなって引き受けることにしたんです。師匠は本名の吉河に戻るからとおっしゃったんですけど、五代目円楽でいいんですよと言ったら師匠は「そりゃ、おかしいよ、おまえ、5代目と6代目がいっしょにいたら」とおっしゃったんです。いいじゃないですか、じゃあ変えるなら本名じゃなくて芸名を圓翁におなりなさい。歌舞伎の市川猿之助をつくるために先代が猿翁に変えられたように、師匠が圓翁、私が円楽、屋号は「澤瀉屋」じゃなくて「面長屋」でいいじゃないですかといったら、くだらない、おまえ、そんなことばっかり考えるのかと笑われました。

「司会になれなかった円楽です」がネタに

木村 さて、「笑点」の話になるんですけど、円楽さんは木久扇さんに次ぐ古参のメンバーも、師匠が司会になっちゃうと解答者側が薄くなる。かきまわすなら、解答者でかき回してください」と言われたんです。そういえば歌丸師匠も司会になった時に散々言っていたんですよ。言いたいことを答えて乗せてアジャストしたいことができないって言われてたんです。つまり世相を切ったりいろんなことができない、それを止めて司会者として発言すると番組が止まっちゃうって。ああなるほどな。横を見れば、確かにそれをやる人はいないと。それをやらないと軽くなりすぎる、だから納得しました。未だにウケますもん「司会になれなかった円楽です」と。むしろ、い

いキヤッチが一個できたくらいに思っています（笑）

木村 確かに番組の先行きを考えると、若い人が司会するというのはいいと思いますね。円楽 こっちはぶつけられますからね。昇太とはキヤッチポールもできますし。最近思ったんです。今まではずっと上にかわいがられて上の人とばかり付き合ってたでしょ。自分が人と付き合ってたことって思ってたのは下の木村 ああなるほどね。

円楽 上の人たちがすごく素敵だからそれにずっとぶら下がっていくと、楽しいんですよ。喜んでくれるし。ところが、ふっとここにきて、ふと見ると、上がいないんですよ。正直言って、小言を言われる人いないでしょ。師匠もいないし。木久扇さんの小言なんて誰も聞かないしね。自分に小言を言ってくれる人がなくなっちゃったんですよ。小言を言う奴はいっぱいいるんですけどね。本当は優しいんですよ（笑）。けむたがられてるんだろ。ならそれでいいやと思ってるね。一生懸命勉強すれば名人になれたんでしょうけど、そこにはかない自分があるんですよ、いつも。いつも二番目みたいなのにいるんですけどね。でも、何かその業界でやる時に必要なポジション、必要な名前をいいたくはないです。名人っていうのは疲れるんですよ。名人は怪談話とか人情話もやるんだから。聞かせたり、楽さんにこれ出てもらおう、これや

第十回三遊亭円楽プロデュース「博多・天神落語まつり」
2016年11月3日・4日・5日・6日
<http://rakugomatsuri.com/index.html>

いですが言われたりもするんですけど、いや、斬家出てねえじゃん、と。呼ばれりやどこでも行つて、それなりにはできるし。落語家として出てるんだからそれでいいと思つています。

木村 笑点でもう一つお聞きしたかったのは、司会者の候補に挙げられていたじゃないですか。でも結果、そうはなりませんでしたがね？

円楽 理由を聞いて納得しましたよ。世間は、ネットやなんかでもそう言ってくれていたら自分のところにくるのかな、自分がまとめるしかないだろうなと思つていたら、制作サイドから「師匠は司会できるんだけどつてもらおうと、その時代に必要とされる人間でいたいです。そう思いますね。

木村 なるほど。いやー、今日は実にいいお話を聞かせていただいて、ありがとうございます。これからの益々のご活躍をお祈りしております。

対談後記

いきなり、ジャケットにショートパンツというスタイルで現れてびっくりした。それだけ時代に対して、ビビッドな感覚を持つていらつしやるということだろう。お話も実に整理されていて、さすが斬家さんだけのことはあるなと感心した次第である。江戸っ子だけあって、歯切れのいい言葉で、ウィットに富んだお話をしていたのだが、そのまま活字にするわけにもいかず、多少の修正をさせていただいた。「落語界も今までの経緯に拘らず、大同団結をすべき」という意見には私も大賛成である。トラディショナルな世界にあつて、ただその慣習だけに甘んじていては、これからの発展は望みえないからだ。謙遜を込めて「その時代に必要とされる人間でいたい」などおっしゃっているが、これからの落語界が発展するために、欠かせない存在であることは衆目の一致するところである。「軽妙」とは、軽やかで巧みなさま、「洒脱」は俗気がなく爽やかなさまを言うが、少なくとも、多少の俗気だけはこれからも保ち続けてほしいものだ。





かつて北炭夕張新炭鉱の麓として栄えた、清陵町のズリ山から眺める、旧炭鉱住宅の風景。現在は清陵団地となり、元炭鉱労働者やその家族が今も多く住んでいます。

北海道 夕張市

日 和 にっぽん





キタキツネやシカも訪れる夕張シューパロダム

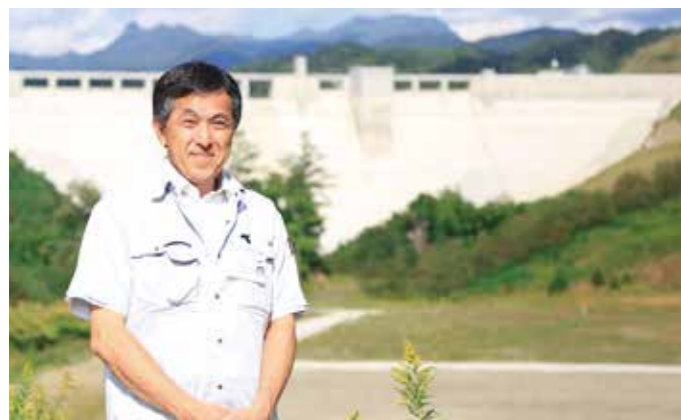


知る人ぞ知るダムカード。全国各地のダムで、そのダムごとのデータを書いたカードがあり、収集するマニアもいるとか。

夕張シューパロダムは、2014年、石狩川水系の夕張川上流部に建設されました。もともと、この地には1961年に完成した大夕張ダムがあり、かんがい用水、発電の目的で利用されてきました。しかし、ダムをかさ上げする再開発計画を立案した翌年に北海道に台風が直撃。石狩川流域が観測史上未曾有の大洪水に見舞われたことを受け、1982年に治水目的を含めた多目的ダムの建設を計画。1995年に着工したのが夕張シューパロダムでした。シューパロダムは、工事中も大夕張ダムの機能を残しながら建設されました。二つの距離は、わずか155mです。夕張の広い大地の中に浮かぶ大きなダム湖の景色は美しく、ツーリングの際にちょっと足を延ばして立ち寄る人も多いそうです。



下の写真は、夕張川ダム総合管理事務所所長の山崎英志さん。いつもダム付近ではシカを見かけることが多いといいますが、この日はなんとキタキツネに遭遇。夕張シューパロダムが、自然と共生していることを物語っています。また、ダムの建設により湖に沈んでしまった国道や鉄道路線、シラカバなどの木々を眺めることもできます。
夕張シューパロダム
夕張市南部青葉町573



「幸せの黄色いハンカチ思い出ひろば」には、年間約1万5000人が訪れています。2014年11月に主演の高倉健さんが亡くなった後には、彼を偲んでここに訪れる人も多く、2015年はなんと通常の2倍もの人々がやってきたのだとか。幸せの黄色いハンカチ思い出ひろば
夕張市日吉5



映画の町、夕張

かつて炭鉱の町として栄えた夕張には、住人たちの娯楽のために映画館が林立していました。炭鉱が栄えた1960年代には、この小さな町のなかになんと17館もの映画館が建っていました。

また、夕張市は映画のロケ地に選ばれることも多く、不朽の名作「幸せの黄色いハンカチ」の撮影に使われたことも有名。黄色いハンカチが風にはためくラストシーンに使われた土地は、今も映画と同じように炭鉱住宅が残され、「幸せの黄色いハンカチ思い出ひろば」として一般公開されています。展示されている住宅の中に入ると、訪れた人々がそれぞれの思いを書いた黄色いメモ用紙がびっしりと貼り付けられていて、圧倒されます。

映画の町であることに由来して、2000年からは本町の沿道に並ぶ店舗に有名な映画の絵看板をたてる事業が行われ、この道は「ゆうばりキネマ街道」と名付けられました。



夕張サワダ珈琲店
夕張市紅葉山236-13

子どもが集うコーヒー店

夕張国道沿いにひっそりと佇む夕張サワダ珈琲店は、店内で焙煎したコーヒー豆と、コーヒーを販売しています。店主の沢田幸一さんがファンの吉田拓郎の曲が流れる店内の一角には、手作りの竹馬と、グローブ、ボールが。



「店の前が、学校帰りの子供たちの遊び場になっているんですよ」と、沢田さんはどこか嬉しそう。「ここはコーヒー屋だから、試しにうずめて子どもたちにコーヒーを出したんだけど、まだ早かったみたいで。スティックシュガーを何本も入れてたから、それ以来子供たちにコーヒーを出すのはやめたんですよ」と笑います。

札幌でコーヒー店を営んでいた沢田さんが、故郷の夕張に戻ってきたのは3年前。いつとはなしに子どもが集まるうち、地域の親御さんたちの間にも安心して任せられる遊び場として認められるようになったといいます。今年の夏には、お店の前に中学生たちがテントをはってキャンプをしていたといいます。



夕張友西市場・代表取締役の多喜雄基さん。風変わりな名前の由来は、「西年に仲間(友達)と作ったから」だそう。もとはメロンの小売商だった多喜さん。2005年に、当時の市場を運営していた卸売会社が自己破産して市場が危機的な状況に陥ったことを受け、なんとか市場を維持するために建てたのが、夕張友西市場でした。



夕張の人々の努力の結晶「夕張メロン」

夕張メロンは、JA夕張市から出荷される農産物の9割を占めている主要産物。品質を維持するために、農協と生産者が一体になった完全共撰体制をとり、「夕張メロン」ブランドの向上に取り組んでいます。また、夕張メロンの名称、メロンの図形、シール等を商標登録し、類似品と区別できるようにしています。今年5月に行われた初競りでは、史上最高値の二玉300万円で競り落とされました。

「見た目できれいですねと褒められるよりも、美味しいですね。と言われたい」と夕張メロン組合・組合長の豊田英幸さん(写真右)。夕張でメロン栽培が始まったのは1923〜1924年頃。試行錯誤を重ねたものの十分な糖度が得られず、戦争の激化とともに一度は立ち消えになりました。再びメロン生産が見直されたのが、1960年。試験栽培を重ねて、夕張メロンのブランドを築き上げました。夕張メロンは、夕張の人々の努力の結晶なのです。

リタイア後、長年の夢を実現させたジャズ喫茶

「FIVE PENNIES」は、大崎雅志さん・ひとみさんがご夫婦で営んでいるジャズ喫茶です。共に市役所に勤めていたお二人。小さなログハウスを建てて、仲間と過ごす空間を作ることに憧れていた雅志さんが、退職後の2008年にオープンしました。

「演奏するよりも、楽器を集めること自体が好き」と雅志さん。店内にずらりと並ぶ約20本のギターとグランドピアノ、ドラムセットなどはすべて雅志さんの私物。店内で流れるBGMは、約1000枚のレコードのなかからその日の気分に合わせて選んだもの。「本当は3000枚くらいないと、レコード喫茶とは言えない」と控えめなコメント。

雅志さんが退職したのは、夕張が財政破綻した直後。「文化は予算の中からはまず先に切られてしまう存在なんです。確かにほとんど黒字にはならないのだけど、意地でも守り、育てていかなければいけないと私は思っています。今は便利になってイヤホンで音楽を聞く人が増えたけれど、ぜひ生の音に触れてほしいものです」と語ってくださいました。

FIVE PENNIES
夕張市千代田25-2



炭鉱町の名物「ばんぢゅう」

ばんぢゅうは、たこ焼きのような形をしたピンポン球程度の大きさで、ふわふわの生地にぎっしりつまった餡子が特徴のお菓子です。小樽や札幌でも親しまれていますが、夕張では、炭鉱が栄えた時代に、汗をかきながら働いた炭鉱夫たちの疲れを癒すために作られていました。そのため、餡子は、少し塩気が多めだったのですが、現在は塩分を少し減らしています。かつての名残からか「甘じょっぱさが美味しいね、というお客さんもいますね」と、店主の沼直子さんは語ります。

沼さんはこのばんぢゅう屋の2代目。1981年に先代からこの店を買い取り、引き継ぎました。「夫は単身赴任が多く、子供をつれて夕張の実家に戻っていたときでした。父から、『時間を持て余しているなら、お店を継いだら』とすすめられたのが始まり」と、沼さん。帰省の度に買いに来る人も多いそうで、「お盆の時など、多い時には1日で700個焼くこともあるんです」。

先代が夕張の地に創業して60余年。ばんぢゅうは炭鉱が閉山した今も、夕張の味として地元の人々や観光客のおやつとして親しまれています。



ENDOU KYOKO
96ママメール
音時間
~ On Time ~
Act.74
「秋色に染まって」

毎年「意地悪度」が増しているような日本の夏ですが、「去り逝くそふり」を見れば、やっぱり「送ってあげます」と思ってしまう私です。そして、知らぬ間にソッと横に立っている秋。この句の風情が堪らなく好きなんです。それも毎年毎年、確実に短くなっていく秋。身を秋色に染めて、短い句を謳歌してあげたいですね。

食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、それぞれ魅力的なんです。私はただただ、ぶらぶら自由気ままにお出掛けするのが大好きなんです。一人でも、気の置けない仲間とでも、季節色に染まるのを楽しみに出掛ける。皆さまも多忙の中、慌ただしい気持ちを少しだけ横に置いておいて、日本の一番美しい季節に染まりに、ちょっとお出掛けされてみては如何でしょうか？

視覚も味覚も、聴覚もリフレッシュされると、お願いです！ 秋の空気がひらいて、私の場合、癒されちゃうんです。この句の間に短い時間でもドフリ浸らないと、アという間に迫ってくる年末の慌ただしさに、ファイティングポーズをとることも、ままならなくなってしまう。せいぜい「ちやうど」そうならぬなら、皆さまには是非、短い秋の香りに包まれるようなパワーチャージをお勧めします。

お出掛けといえは、1939年にジャズの巨匠・デューク・エリントによるあの名曲が浮かびます。そう、「A列車で行こう」です。曲のスケールから、ふと「アメリカ大陸を横断する長距離列車」を想像してしまうのですが、実はA列車とは、ニューヨークの地下鉄の「8番街行き」の事なんです。歌詞に「シユガーヒル」という街が

出てきます。そこはニューヨークで唯一の黒人エンターテイナーの劇場ができた所で、のちの「アポロシアター」の前身となる場所なんです。つまり、この曲には「ナイスな音楽を聴きたいなら、ハリウッドに行かなくちゃ」みたいな「A」の列車に乗るといって早く到着できるんだ。乗り間違えないように……！」と、唄っているんです。何で洒落ていて親切な曲なんだろう。アポロシアターになる前の劇場を「イカした場所だ」と気付き、曲にしたデューク・エリント。まさに「俯瞰の目」があつたんだな。

今では沢山のアーティストがカバーするスタンダードナンバーになっています。2016年秋は世界中で愛され、何年経っても句なこの曲が似合う気分です。

96 http://jazzbar96.com/
Presented by Nihon Kotsu
www.nihonkotsu.co.jp



実際の坑道で、炭鉱の暗闇を体験

国内最大級の炭鉱ミュージアム「石炭博物館」では、実際の坑道と石炭層をわずかな明かりだけで見学し、炭鉱夫たちが働いていた環境を体験することができます（平成28年度は改修工事のため見学できません）。地下展示室では、人形を使って炭鉱開発が始まった明治期から、時代ごとに炭鉱労働が変化していった様子を解説しています。写真は、昭和の炭鉱の様子です。

また、実際に働いていた人々のパネル写真も展示されています。マスクをつけて働く人々や、炭で顔が真っ黒になった人々など、様々な様子が写されています。中には、炭が舞い散る鉱山の中でお弁当を食べる人の写真もあり、いかに過酷な環境の中で人々が働いていたかを伝えています。



石炭博物館
夕張市高松7



ユニークな名前が目を引く「ヤリキレナイ川」

「遣り切れない」という言葉を連想してしまいましたが、由来はアイヌ語で「魚の住まない川」を意味する「ヤンケ・ナイ」、または、「片割れの川」を意味する「イヤル・キナイ」だろうとされています。ユニークな名前が話題になり、テレビで取り上げられたことも。石狩川水系の一級河川で、全長は5km。由仁町市街地や北海道道694号の北長沼由仁線沿いから見るすることができます。



三菱大夕張鉄道を後世に

三菱石炭鉱業大夕張鉄道線は、清水沢駅と大夕張炭山駅を結び、炭鉱夫たちの通勤列車や、鉄鋼を運ぶ貨物列車用の路線として栄えました。開通したのは1911年。道路の整備が進んでいなかった1960年代頃までは、地域住民の交通手段としても利用されていましたが、炭鉱の閉山が相次ぎ、1987年に廃止されました。

1999年、愛好家たちによる「三菱大夕張鉄道保存会」が発足し、南大夕張駅跡にてラッセル式除雪車、客車、貨物列車が保存されています。大夕張鉄道線の歴史を人々に語り継ぐべく、跡地では年に一回「汽車フェスタ」が開かれ、ラッセル車の雪かき用ウイングを動かし、モーターカーを走らせるなどのイベントを行っています。



三菱大夕張鉄道保存会・事務局次長の伊藤保則さん(写真左)と、伊藤さんが撮影した、ラッセル式除雪車が除雪作業を行っている風景(写真上)。除雪車は朝・晩の2回のみ走っていたため、美しい写真を撮るのに苦労を重ねたそうです。



雇用で夕張に貢献

シチズン時計は国内生産にこだわり続け、時計内部の部品はすべて国内で生産。部品ごとに特化して全国の工場で行っていて、シチズン夕張株式会社では、歯車部分を担当しています。1984年に夕張精密として設立され、2005年にシチズン夕張に商号を変更しました。その間に、規模は着々と拡大し、今年10月には第五工場が完成の予定。工場長の杉本治晃さん(写真左)は、「夕張の町が縮小していくなかで、雇用の面で貢献できれば」と語っています。

シチズン夕張
夕張市南清水沢4-107-6

ビジョナリーな人たち

橋場英和 めうばり屋台村村長



らず、夕張飲食店連合会事務局長や、夕張の地域活性化を目指したプロジェクトを行う「YYプロジェクト（夕張市民による夕張駅周辺地域活性化推進協議会）」のメンバーとして、夕張の再建と活性化に向けて活躍して



ゆうばり屋台村のオープンを機に、旭川から夕張に引っ越してきた橋場英和さん。ジンギスカン店の経営に始まり、今や夕張の活性化を目指して活動している。

夕張駅前の活性化を目指して

JR夕張駅のほぼ正面に建つ、赤い提灯を携えた大きな建物。一軒の飲食店かと思っ
て暖簾をくぐってみると、中央にテーブルとイスを並べた共有スペースが設けられ、その
両脇には、まるで屋台のようにしてラーメン屋や蕎麦屋などの飲食店が並んでいる。どこか
か高速道路のサービスエリアと似た雰囲気か漂うこの飲食店の集合体が、「ゆうばり屋台村」だ。サービスエリアとの大きな違いは、各店同士の横のつながりが密なこと。この屋台村の「村長」として全体を統率しているのが、橋場英和さんだ。

橋場さんは旭川市の出身だが、夕張市が財



橋場英和（はしば ひでかず）
旭川市出身。2009年夕張市に移住、ジンギスカン・串焼きの店つるちゃんをオープン。屋台村の村長、夕張飲食店連合会事務局長として夕張活性化に取り組む。

いるのである。

家族みんなが笑顔で暮らす様子を思い描いて、夕張へ移住

橋場さんの夕張移住の計画は、スムーズに進んだわけではない。

「屋台村全体の運営会社に連絡すると、『夕張の雇用を促すためのプロジェクトだから、出店できるのは応募の時点で市内在住の人のみ』と断られてしまったんです」

だが、橋場さんにはどうしても諦めきれない理由があった。職を失った直後に見てもらった古い師から、ログハウスで、「橋場さん夫妻と4人の娘さんたちが楽しそうに暮らしている姿が浮かんでくる」と言われていたのだ。そのお告げの直後に見つけたのが、屋台村の広告。調べると、屋台村の建物もログハウスだという。「これはもう屋台村で生計を立て直せということだ」と橋場さんは思ったという。

再度頼み込んで見たものの、やはり断られる。諦めかけていた矢先、予定していたジンギスカンの店が出店を断念。運営会社の社長から「立っているだけでいいから橋場さんにジンギスカン店を開けてほしい」と頼み込まれ、オープンするために、家族で夕張へ移住してきたというわけである。

初めの3カ月は、特にリーダーを決めることもなく営業が続けられたが、限られた空間のなかでいくつもの店舗がひしめきあって営

政破綻した2年後の2009年にこの地へ引っ越してきた。きっかけは、同年9月にオープン予定だったゆうばり屋台村への出店を募集する新聞広告を見つけたこと。長く続いていた自動車販売店が立ち行かなくなり、次の職を探しているタイミングだった。橋場さんは、こう振り返る。

「当時の私は、夕張市と同じくらい厳しい状況に立たされていました。今日までの年月は、私の人生の『再建』の道のりでもありましたね」

まさに背水の陣で臨んだ移住だった。それが、今や橋場さんは屋台村の村長のみならず、

業をしていると、いつ客の取り合いが起きてもおかしくないような緊迫した状況になってしまっていた。そこで、各店主が集まって「村民会」が発足され、広報や注文の取り方のルールが決めることになり、屋台村の運営会社から「適任だ」として、リーダーを委されたのが橋場さんだったというわけである。

以降、橋場さんは、ときに「よそ者が余計なことをするな」と夕張住民に言われながらも、屋台村の発展と、夕張市の活性化に尽力してきた。今年3月にはYYプロジェクトの一環として、名産品の「夕張メロン」を使った菓子やデザートを市内で作るための検討会に参加し、同じ屋台村で別の飲食店を運営している妻の店で出す「夕張メロンスムージー」を考案した。

また、同プロジェクトでは今年8月、JR夕張駅前に市内の農家が生産した野菜類を扱う直売所を設けて、9月中旬までの週末に出店し、市内産のミニトマトやピーマンなどを販売した。

移住してからはや7年。現在、屋台村の隣の敷地では、橋場さんの次女もカフェ・バーを構えている。古い師の言葉通り、家族が夕張のログハウスに集まって、笑顔で過ごす生活を取り戻したのである。

「今後、夏にはビアガーデンを出すなどして、更に夕張駅周辺を盛り上げていきたい」今の夢は、夕張の活性化を更にすすめることだ。

ビジョナリーな人たち

佐藤真奈美 一般社団法人清水沢プロジェクト 代表理事

夕張の魅力を発掘し、伝えていく

炭鉱時代の遺物こそが夕張の歴史であり、財産である。佐藤真奈美さんは、これらを観光客に紹介し、ときには地元の人々が再認識するきっかけを作っている。



佐藤真奈美 (さとう まなみ)

大分県別府市出身。2001年立命館大学卒業、2009年には札幌国際大学大学院観光学研究科修士課程修了。その後、NPO法人炭鉱の記憶推進事業団で空知地方の炭鉱遺産を活用したまちづくりに携わり、「炭鉱の記憶アートプロジェクト」などを担当。2015年から清水沢プロジェクトとして独立し、2016年に一般社団法人設立。

「よそ者」が夕張再建の一端を担っている。東京から移住した鈴木直道市長をはじめ、夕張で活躍する人々を見ると、そんな思いがよぎる。なぜ「よそ者」が財政破綻した市の再生を支えるのか。それは、物の価値というのは、時として他者の目によって発見されるものだからである。一般社団法人清

水沢プロジェクトの代表理事を務める佐藤真奈美さんも、夕張の魅力を発掘している「よそ者」の一人だ。佐藤さんの活動内容は、炭鉱遺産を活用して、地域内外の人々が出会う「場」をつくること。そのために、ガイドやアテンドをすることもあるという。

「暮らしている人々のうちの誰もが地域資源だと思っていなかったものに価値を見出して、夕張を訪れる人々に紹介していくのが私たちの仕事です」と、佐藤さんは語る。活動を始めたきっかけは、佐藤さん自身が初めて夕張の炭鉱住宅を見たとき、その風景にとても感動したからだ。JR北海道の客室乗務員だったときのこと。大分出身、立命館大学卒の佐藤さんは、少しでも北海道のことを知るために、休日はドライブに出かけていた。その時たまたま通りかかった夕張市清水沢の清陵団地の風景に心を奪われた。清陵団地は、1982年に閉山した北炭夕張新炭鉱の炭鉱住宅だった場所。同じ大きさ、同じ形の集合住宅が、規則正しく何列にも並んでいる。夕張の人々にとっては何の変哲もない炭鉱住宅の風景だったが、佐藤さんの目には、なんて美しく、そして不思議な景色なんだろうと映ったという。「まずは住宅の多さに圧倒されました。どこか古くさくもありながら、区画整備された都会のニュータウンのようでもある。しばらく見入ってしまいました」

ほとんど宝探しのよう

この体験をもとに、大学院に入学をし、「炭鉱遺産を活用したまちづくり」をテーマに修士論文を書いて、それを実現しようとするNPO法人で活動を始めたのが佐藤さんの

活動の起点だ。11年、夕張市の許可を得て、清水沢のスリ山の草刈り作業と階段の設置を行った。捨石を堆積させてできているスリ山自体が炭鉱の町の資源であり、山上からは佐藤さんが感動した炭鉱住宅の景色を見渡すこともできる。登れるようになれば、かつて炭鉱の町として栄えた夕張の魅力をより多くの人に感じてもらえると考えたのだ。

現在、清水沢のスリ山には人が上りやすいように階段が設けられている。随所にベンチも置かれていて、一休みしたり、風景を眺める人たちに便宜もはかられている。

「地元の人々と市外の人々が一緒に作業をし、完成までには3年かかりました」どのようにして魅力ある資源を発掘するのかが尋ねると、彼女はこう答えた。「ほとんど宝探しのようですよ。炭鉱が閉じたことになって廃墟となってしまった旧北炭清水沢火力発電所のように、地元の人々が『ゴミ』や『負の遺



「Open the door」余蓄 (よ・らい) そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト 2014 出展作品

写真提供 / そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト

産」と捉えているものも、夕張の歴史を肌で感じられる大切な資源なんだと、よそ者は感じます。現場にひとつひとつ出向いて、その場所が持つ価値や魅力をどのように伝えられるかを考えています」11年にはこの場所を舞台にして現代アートの展示を行った。「大正15年に完成したこの発電所は、炭鉱の発展とともに栄え、閉山を機に衰退しました。その後、地元企業が工場・作業用地として取得して、建物の解体を進めながら操業していたので、交渉をして建物自体をアートプロジェクトに利用させてもらったのです」ガラスがはずれた窓に、ぼつと黄色いオオハンゴンソウの花を置く。廃墟を舞台にすれ

「大正15年に完成したこの発電所は、炭鉱の発展とともに栄え、閉山を機に衰退しました。その後、地元企業が工場・作業用地として取得して、建物の解体を進めながら操業していたので、交渉をして建物自体をアートプロジェクトに利用させてもらったのです」ガラスがはずれた窓に、ぼつと黄色いオオハンゴンソウの花を置く。廃墟を舞台にすれ

ば、これも作品になり、退廃した風景のなかで、生命力溢れる花の美しさが対になって映し出される。こうしたイベントを行うほか、日常的に人々が立ち寄れる場所として、旧炭鉱住宅の団地内に「清水沢コミュニティゲート」も設けた。ここが清水沢プロジェクトの活動拠点にもなっている。「夕張に来た人々に、歴史を肌で感じてもらいたい、このエリアの価値を再評価してもらえらるようになり、さらにYYPプロジェクトメンバーとして活躍している橋場さんにして、夫と二児を札幌に置き、夕張の魅力の再発見に奔走する佐藤さんにしてもそれは同じ。願わくば、この人たちの活動が、特定の個人に依存する属人的な試みに終わることなく、夕張市全体に波及して行ってほしいものである。」

木村の視点

市長を含め、ここでご紹介させていだいたお二人は夕張市以外のご出身、「町おこし論」で言われる「よそ者」といわれる人たちである。たしかに二人とも、「内部にいる人たちの気付かない価値を発見する客観的な目」を持っていらっしゃるのだから、それよりも、この人たちに会って感

じたのは、「事実の中にプラスを発見する能力がある」ということであった。「……だから」という前提に対して、ただ手を拱いて「しょうがない」と諦めるのではなく、「……だから」の後「こそ」を付けて、「……だからこそ」頑張る強い気持ちを持っていらっしゃるということだ。後へ引けな

いピンチの局面から、居を夕張に移して、屋台村村長になり、さらにYYPプロジェクトメンバーとして活躍されている橋場さんにして、夫と二児を札幌に置き、夕張の魅力の再発見に奔走する佐藤さんにしてもそれは同じ。願わくば、この人たちの活動が、特定の個人に依存する属人的な試みに終わることなく、夕張市全体に波及して行ってほしいものである。」



夕張はいま、 良き前例を作っている

2007年に夕張市が財政破綻してから、今年で10年目、私が市長に就任して6年目を迎えます。現在、夕張市は1秒間に69円借金を返済しています。今年度で累積116億円返済することになりますが、市税収入が8億円しかないのに、汗どころではなく、血を流しながら返している状況です。とは言え、ただお金を返しているだけでは市政としては不十分で、財政を切り詰め行政サービスへの圧縮を図る一方で、地域を再生し、町の抱える課題を解決する施策にも取り組んでいるところです。

私の前職は東京都の職員で、破綻した翌年の2008年1月に夕張市に転任して、再建に携わりました。そんな中、さらに踏み込んだ政策を推し進めるには市長になるのが一番早いと考え、2010年の市長選に立候補したというわけです。地元民でもなく、政党支持もない、29歳の自分をよく選んでいただけだなと思いますね。



私は夕張に来る前は、駅まで至近距離の目黒や白金に住んでいて、「夕張に移って大変でしょう」と言われるんですけど、人間ってないものねだりをするものですよ。夕張の人が、恵まれた自然に囲まれながら、高層ビル街に代表される都会に憧れているとしたら、都庁で働いていた私は、街路樹の葉の色が季節ごとに移り変わっていく様子を目にし

て、「週末は温泉にいきたくないなあ」と言いながら高層ビルに通っていたわけなんです。でも、そんなものが両立するわけではないんです。東京には東京の良さがあり、夕張には東京にはない、夕張ならではの良さがぎゅっとあると思っています。

夕張メロン豆知識

夕張市の特産として誕生した「夕張メロン(品種名:夕張キング)」。夕張市農業協同組合では夕張メロンを商標登録しており、夕張市以外では夕張メロンの名前を使用することはできません。	肥満防止といった役割を担っているのです。夕張メロンなどの高級メロンは、養分全てを集中して大きく結実させるために、1株に1個を残して、残りの実は小さいうちに摘みとってしまいます。また温度や湿度、水などの管理を徹底しなければならず、栽培行程も複雑で、最後は何度も玉ふきをして表面を美しく仕上げます。このように大事に育てられる高級メロンは、手間暇のかかった芸術品に例えられます。ちなみに買ってきた夕張メロンの果実の種を育てても、夕張メロンはできませんのでご注意ください。
メロンに豊富に含まれるカリウムが体内の余分な塩分の排泄に役立ち、また9%を占める水分の利尿効果との相乗効果もあって、高血圧の予防や肥満防止に効果があるといわれています。食後のデザートメロンは単に口を楽しませるだけでなく、余分な塩分の排泄と	

夕張市が財政破綻をした背景には、1990年に産業の基幹を担っていた炭鉱の閉山があります。「石炭から石油へ」という国のエネルギー政策の影響をものにも受けたわけです。その後「炭鉱から観光へ」と舵を切って、後の財政破綻の要因となるのですが、皮肉なことに、この年に夕張市は、自治省から優良地方公共団体ということで大臣表彰を受けているんです。いわば他の町のモデルになる町だと評価をされていたわけです。言い換えれば、他の町も「夕張みたいになりなさい」と言われていたわけなんです。それが、今や「夕張みたいになるな」と言われています。表彰してくれた自治省は総務省に変わり、今は総務大臣の管理の下でお金を返している。時代の変化を感じますね。

このような話をするとう、夕張市は他の地域の反面教師のように捉えられてしまうかもしれません。しかし私は、むしろ「将来他の地域から参考にされる前例を作っている段階」なのだと思っています。このまま国の人口が減り続けて行けば、20年後には今の夕張と同じような厳しい状況に置かれる地域も増えていくと思います。多くの自治体は、交流人口

や定住人口を増やそうとしています。夕張市では「コンパクトシティ」を提唱して、仮に人口が減ったとしても、市としてやっていけるような施策を立てています。中学3校を1校に、小学校6校を1校に統合しました。何せ市の面積が東京23区より広いわけですから、通学するのは大変なんですけどね。最低水準と言われた医療費の助成も、副市長を置かないことを財源にして拡大しました。そうすると、「夕張でさえも改善したぞ」と全国に広がっていくんです。60年代に12万人だった人口は、今や9000人になりました。一般企業なら「お客様が10分の1になれば、従前と同じサービスを提供することはできません。お客さまが減っていくことを見越した

うえでどういうサービス展開していくかということになると思うんですけどね。でも、自治体はそれを見なかった、いや見ないふりをしていたんですね。夕張の場合は、幸か不幸か、財政破綻ということもあって、住民の皆さんの危機意識も醸成されました。もし今後、我々がお金を返しながら、地域を再生しつつ課題を解決し、財政再建を果たしたのちに持続可能な形を実現することができれば、たとえ今は他の地域に遅れをとっていても、やがてきつと夕張が先を行く形になると思います。夕張市民にとって、今の厳しい状況が、いつかきつと成功体験となるように、必死で市政に取り組んできたいと思っています。



- ・市債とは、法律に基づき、一会計年度を越えて行う借入金です。
- ・再生振替特例債とは、財政再生計画終了までに返済しなければならない法律で認められた借金です。(借入額: 321億9,900万円)
- ・一般会計とは、福祉、教育、土木、ごみ処理など市町村の基本的な施策を行うための会計です。
- ・特別会計(国民健康保険事業会計など)とは、特定の事業を行うための歳入歳出を、一般会計と区分して処理する会計です。
- ・企業会計(水道事業会計)とは、民間企業と同じ考え方に基づく会計処理する会計です。
- ・平成28年3月31日現在の住民基本台帳に登録されている人口(外国人を含む)は9,025人です。